

## 2023年度 公立大学法人大阪第3回経営審議会議事要旨

日 時：2024年3月25日（月）14時00分～14時35分

場 所：I-siteなんば 2階カンファレンスルーム（大阪市浪速区敷津東 2-1-41）

※Web 会議システムを併用して実施

出席者：（外部委員）生野委員、池田委員、上田委員、尾崎委員、鳥井委員、土屋委員、比嘉委員

（内部委員）福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、中村理事

（オブザーバー）帯野理事、藤沢理事、宮部理事、白井監事、前田監事

### 【審議事項】

#### 1. 2024（令和6）年度計画（案）について

柴山企画部長より説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

<ご意見等>

特になし。

#### 2. 2024（令和6）年度予算（案）について

吉岡財務課長より説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

<ご意見等>

（池田委員）

新キャンパス整備について、計画どおり進捗しているか。森之宮は大阪の東西軸における一つの拠点となる。その中核となる施設として大いに期待している。

（東山理事）

過去には不発弾の発見に伴う工期の遅れなども生じたが、現在は順調に進捗している。

（酒井理事）

大阪城東部地区のまちづくりという観点からも大阪府・大阪市とともに大学を核とするスマートシティの実現に向け、次のターゲットである1.5期開発については、民間活力導入型施設等やその中での大学の位置付け等を含めた検討を行い、公募条件等を整備しているところ。

### 【報告事項】

#### 1. 2024年度の役員体制等について

酒井理事より説明がなされた。

<ご意見等>

（尾崎委員）

OMU戦略推進室と大学戦略室を分ける必要はないのではないか。

（酒井理事）

採択されたJ-PEAKS（地域中核・特色ある研究大学強化促進事業）において文部科学省から学長がリーダーシップを発揮し大学改革を推進することが必要条件となっていることから学長直轄の大学戦略室を設けている。

（土屋委員）

人事・財務に関すること等はOMU戦略推進室と大学戦略室が連携し、問題が生じた場合は最終的にOMU本部において差配する仕組みか。

(酒井理事)

経営的な投資戦略を担うのはOMU戦略推進室だが、大学戦略室においても人・物・金をベースとした制度設計、例えば研究者のやる気を引き出す新たな給与体系をどうするかといった議論は大学戦略室が中心となっていく。そこで設計された制度を実効化させるにあたり、財源を投入する際にはOMU戦略推進室も関係することになるが、一義的な決定権は大学戦略室にある。

(白井監事)

内部統制推進委員会はコンプライアンス推進室と総務課のどちらが担当するか。

(酒井理事)

コンプライアンス推進室において一元的に実施する。

(土屋委員)

病院は組織上、医学部附属病院であり、医学部は学長をトップとした大学の教育研究組織であるが、一方で医学部・附属病院事務局は理事長をトップとする事務組織の中にある。連携が重要。

(酒井理事)

このような組織図となっているが、中村理事兼病院長の下、一体となって病院運営を行っている。

(比嘉委員)

資料21ページ①「OMU本部」体制と②「産学官民共創推進本部」体制はどのような関係か。

(酒井理事)

産学官民共創推進本部は、有り体に言えば稼げる大学に向けて大学として総力を結集していくための組織。機能的には研究推進を活性化させ、社会との接点の中で成果を社会に見せていく役割を發揮するもの。OMU本部は全体を包括した大学戦略や法人の経営戦略について審議・決定する役割を担うもの。